

---

# 真子さんとお化け屋敷

umako

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真子さんとお化け屋敷

### 【Nコード】

N7510L

### 【作者名】

umako

### 【あらすじ】

22歳、フリーター。小暮真子が愛しているのは、コーラと他人の住居。ある日、彼女の暮らす町外れで、美しかった少年の死体が見つかった。

## プロローグ

幼い頃。僕の恐い夢は、いつも小汚いマンションで始まる。僕はマンションの一室に閉じ込められていた。僕だけじゃない。絶望の表情を浮かべた男女が数人、部屋の隅に固まり座っている。この部屋を支配しているのは、1人の狂った女だった。彼女は誰もマンションから逃げ出さないよう、見張ってる。手には刃物が握られていた。

わかってる。これは、いつか観た映画の影響を受けた、ただの夢だ。

けれど、大人になって、  
どうしてだろう。

僕は、あの悪夢が愛おしい。

## 小暮真子

小暮真子は今年で22歳になった。愛しているのはコーラと他人の住居。コーラは、冷蔵庫で常に冷やされている。他人の住居というのは、説明するのは難しい。ただジロジロと部屋の中が視たいわけではなく。外観が好きだった。特に夜。淡いライトのついた玄関カーテンに映る影は、家族。微かに聞こえる賑やかな声や食器、テレビの音。それから連想される、温かい家庭。ちょうど彼女の暮らすアパートの隣が、理想の住居であった。時折、リコーダーの練習をする音が聴こえてくるのが、また愛しかった。今宵も聴こえてくる、『夕焼け』。

真子は目を瞑り、コーラをひとくち飲んだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7510/>

---

真子さんとお化け屋敷

2010年10月9日18時24分発行